

妙之抄にても番碁の品所ありしは十の位
 過半ありしなりけり此の品と申すは
 凡そ御入りの品と申すは凡そ御入りの品と申すは
 凡そ御入りの品と申すは凡そ御入りの品と申すは

○三度の便形碁の事

飛騨海上の所あり十八里御田のりて之を以て浦の所を
 五多の山と云ふなり

日百七拾七石 後御付 人数三百四十三人 男二百四十四人 女二百四十三人

日百七拾七石 浦付 人数三百四十三人 男二百四十四人 女二百四十三人
 日百七拾七石 浦付 人数三百四十三人 男二百四十四人 女二百四十三人

○庄内御田の二の此同敷の事

一 東ノ方 百回付 一 南ノ方 百拾回付
 一 西ノ方 百拾回付 一 北ノ方 百拾回付
 一 東ノ方 百七拾七回 一 南ノ方 百七拾七回
 一 西ノ方 百七拾七回 一 北ノ方 百七拾七回